

# 骨髄移植センター開設20周年記念 第18回 がん診療市民公開講座



平成 30 年 6 月 16 日(土) 市民公開講座を開催しました。

白血病などの血液がんをはじめとした難治性血液疾患に対し、造血幹細胞移植医療を提供するため、骨髄移植センターが平成 10 年に開設され、今年で 20 周年を迎えました。

平成 13 年より骨髄移植推進財団の認定移植施設、臍帯血移植ネットワークの認定施設となり、骨髄バンクおよび臍帯血バンクからの移植も行っています。全国的にも高い評価を受ける治療センターとして今日に至っています。

当日は、一般市民の方、医療関係者など合計 240 名のご参加があり、皆さんの血液がんに対する関心の高さが感じられました。

●当院は、一般市民の方を対象とした公開講座やミニがん教室を開催しています。●



■総合司会 松田 至晃  
長野赤十字病院 副院長



■院長挨拶 吉岡 二郎  
長野赤十字病院 院長

---

## 講演1 『子育て中のがん患者と家族・子供の支援』

子育て中のがん患者と子どもを取り巻く現状と課題・患者のあらゆる病期に応じた子どもへの支援の時期と活動・SKIP チームにおけるグリーフケアについてお話いただきました。



■座長 ミルズ しげ子  
長野赤十字病院 看護部長



■講師 近藤 咲子 先生  
慶應義塾大学病院 看護部

---

## 講演2 『当院における造血幹細胞移植の歩みと現状』

歴代関係者の熱意により、1998年4月に北信地方初の骨髄移植センターとして開設し、1998年7月自家末梢血幹細胞移植第1例目施行。2001年5月には非血縁者間骨髄移植第1例目施行と、着実に実績を伸ばしてきました。

2005年には血液内科の医師不足に悩まされ、長期化すれば移植中止も懸念されましたが、医師会・周辺医療機関のご協力や医師着任により何とか切り抜け、現在では他院に医師派遣できるまでになりました。



■座長 吉岡 二郎  
長野赤十字病院 院長



■講師 小林 光  
長野赤十字病院 血液内科部長

---

## 特別講演 『血液がんの治療 ～今日まで、そして明日から～』

骨髄移植センター開設20周年記念として、慶應義塾大学医学部血液内科教授・日本造血細胞移植学会理事長の 岡本 真一郎 先生を講師としてお招きしました。

日本骨髄バンクと非血縁者間骨髄移植の現状や、急性白血病、慢性白血病、多発性骨髄腫の治療方法や生存期間の改善などについて講義していただきました。



■座長 清澤 研道 名誉院長



■講師 岡本 真一郎 先生  
慶應義塾大学医学部血液内科教授  
日本造血細胞移植学会理事長

長野赤十字病院 血液内科の入院数は、2017年度DPCデータ（入院数）（全国1730病院中）では、慢性骨髄性白血病 第2位、多発性骨髄腫 第5位となっており、全国的にもトップレベルの病院となっております。

### ～会場アンケートより～

- ・5年前に臍帯血移植を受けた者です。おかげさまで元気に過ごしています。血液内科のこれまでのお話しを伺い、本当にこんな素晴らしい病院で治療を受けられたことを改めて感謝いたします。ありがとうございました。
- ・骨髄移植センターの歴史を知る事ができ、医療チームのご苦労・尊さを感じました。そしてとても分かりやすい内容と講演であり、今後に役立つお話でした。医療は日々進歩しているのですね。
- ・血液癌のメカニズム、治療のメカニズムを大変分かりやすくご講演いただきましてありがとうございました。更なる治療法の進歩を期待しております。
- ・20周年記念講演としてとても素晴らしい内容でした。もっと多くの人に聞いてもらいたい内容でした。講師の方の熱い思いを感じました。

今回で18回目を迎えた がん診療市民公開講座。

今後も開催しますので、是非みなさまご参加よろしくお願いたします。

事務局：がん診療連携課（内線 2205）